

事項	無加温ハウス栽培向けぶどう試作品種「シャインマスカット」に対する無核化技術			
ねらい	「シャインマスカット」の慣行の無核化処理は、開花前、満開時及び満開10日後の合計3回であり、いずれも浸漬処理である。開花前の処理を散布に変更、または処理回数を1回削減しても従来の方法と同品質の果房生産が可能であることから参考に供する。			
指導参考内容	1 処理方法			
	従来の3回処理（1回目浸漬）に加え、3回処理（1回目散布）及び2回処理が利用できる。			
		1回目	2回目	3回目
	3回処理（1回目散布）	ストレプトマイシン200ppm液を花房に散布（満開予定日の14日前～開花始期）	フルメット5ppm、ジベレリン25ppmの混合液に花房浸漬（満開時～満開3日後）	ジベレリン25ppm液に果房浸漬（満開10～15日後）
2回処理	ストレプトマイシン200ppm液を花房に散布（満開予定日の14日前～開花始期）	フルメット10ppm、ジベレリン25ppmの混合液に花房浸漬（満開3～5日後）		
3回処理（1回目浸漬）（従来の方法）	ストレプトマイシン200ppm液に花房浸漬（満開予定日の14日前～開花始期）	フルメット5ppm、ジベレリン25ppmの混合液に花房浸漬（満開時～満開3日後）	ジベレリン25ppm液に果房浸漬（満開10～15日後）	
期待される効果	1 シャインマスカットの無核処理方法の選択幅が広がり、経営形態や作業の進行状況に応じた利用ができる。 2 1回目の処理を散布にすることで、横向きの花穂にも処理が容易になる。			
利用上の注意事項	1 本資料は平成26年2月28日の農薬登録内容に基づいて作成した。 2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報検索システム」(http://www.acis.famc.go.jp/index_kensaku.htm)を確認すること。 3 フルメット液剤はジベレリン以外の薬剤との混用を避けること。			
問い合わせ先（電話番号）	りんご研究所 栽培部（0172-52-2331）・県南果樹部（0178-62-4111）	対象地域	県下全域	
発表文献等	平成25年度 試験研究成績概要集（特産果樹）（りんご研究所）			

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 無加温ハウス栽培における無核化処理方法の異なる「シャインマスカット」の果実品質
(平成25年 青森りんご研県南果樹)

調査地点	処理方法	房重 (g)	粒重 (g)	糖度 (%)	酸度 (%)	無核果率 (%)
県南果樹部 (五戸)	3回処理(1回目散布)	400	9.1	19.9	0.27	100
	2回処理	367	8.0	19.3	0.30	100
	3回処理(1回目浸漬) (従来の方法)	384	9.1	18.9	0.32	100
	有意性	NS	NS	NS	NS	—

- (注) 1 浸漬は専用容器、散布はハンドスプレーを用いて2方向から行った。
 2 満開日は6月21日
 3 NSはTukeyの多重検定で有意差なし。
 4 大豆粒大の頃に摘粒で40~50粒を残し、摘粒後に被袋し、結果枝当たり1房とした。
 5 露地栽培の5年生樹に着房した果房を各区6果房供試した。



図 1 ストレプトマイシンの花房の浸漬処理 (左) と散布処理 (右)

(参考価格) ストレプトマイシン200ppm、1L調整で 2.4円 (税別)
 フルメット 5ppm、1L調整で 664円 (税別)
 フルメット 10ppm、1L調整で1,327円 (税別)
 ジベレリン 25ppm、1L調整で 87円 (税別)